

2018年10月度役員会議事録

日時：2018年10月21日(日)8:00～9:30

場所：サンピアセリーズ

参加者：原田会長、横田副会長、南、横山、三浦、岡林

議題Ⅰ：コンクリートサミット in 高知「第9回コンクリート技術研究会」の反省

9月28日(金)に開催された、コンクリートサミット in 高知について、南氏が作成したアンケート集計を基に本年度の反省点を踏まえ今後の技術研修会の運営方法等を議論した。

- ・参加者は一般企業135名、役所26名、来賓29名および診断士会30名の合計220名であった。
- ・アンケートの回答率は74%である。
- ・講演内容についてはおおむね良好であり、満足度も80%以上がほぼ満足であった。
- ・今後の改善点については、長テーブルがよい、資料のカラー化、喫煙場所の設定などが上げられた。
- ・今後希望するテーマについては、供用中の構造物に発生している損傷の特殊事例について、コンクリートのひび割れ抑制方法、トンネル・鋼橋について、劣化・損傷のメカニズムをコンクリート診断士に見合った高いレベルで教えてほしい等の意見が挙げられた。
- ・午前中からの1日は参加しづらい、半日の講演にしてほしい。
- ・今回のアンケートは、共催のJCI四国支部、高知県土木施工管理技士会および各講師陣に配布予定である。

運営面について

今回の収支は赤字となっています。主な原因は印刷物の代金と動員数の減少が上げられました。

- ・運営費の圧縮については、印刷物に20万円程度かかっており大きな負担となっている。次回からは資料をPDF化したものをホームページ上にアップロードし、講演時に各自プリントアウトして持参頂く。受付時にホームページに掲載時のパスワードを返信の際に知らせることとした。したがって、本会が構える資料は領収書とリーフレットになり大幅な経費削減になると思われる。
- ・集客については、今回は官公庁については本庁のみに依頼要請を行ったが、各部署の温度差がありうまく機能したとは言い難い、前回は出先機関に直接要請を行うことにより大きな集客があったので、次回からは本庁と出先機関両方に出向き参加要請を行うこととした。
- ・民間は有料、官公庁は無料のスタンスは今後も維持する。公社等の中間法人は基本的に有料とする。
- ・賛助会員の場合は、その組織の代表者1名のみ無料とする。代理で出席する際は1名に限り無料とする。

議題Ⅱ：その他

- ・本年度のコンクリート診断士の受験において、高知県は4名の方が合格されました。内2名は本年度の受験対策の受講者です。JCIより合格証が届く3月以降に診断士会への入会要請を行います。
- ・新年会を2018年1月19日(土)19:00～「ザ・クラウンパレス新阪急ホテル マンダリンコート」(中華料理)にて会費¥6000(税込)で予定しています。

以上
2018年10月22日 文責 岡林